

》商工会議所活用レシピ

FILE 07

わが国唯一の資源「木を正しく使う」ために
キットハウス、販売ばく進中



親和木材工業株式会社
代表取締役社長
古田 元 さん

今、弊社の一押し商品はキットハウス。キャンプ場のミニログハウス、庭に子供部屋や書斎としてなど2坪前後の木の家の材料を全部セットでお届けします。

あとは組み立てるだけ。例えば3坪で62万円程度です。人的お手伝いもしてありますが、7割はお客様自身がクラフト感覚で楽しみながら施工されていますね。

使う木材は岐阜県産の杉。間伐材を活用し中空木材（コラムウッド）を1年以上かけて開発しました。1本の丸太の芯部分を加工して、中を空洞にした材を製作。中空による二重構造で断熱性に優れ、結露にも効果的です。夏は涼しく冬は暖かい。また、徹底的に人工乾燥しますので木材特有のソリ・割れ・狂いが生じにくく寸法も安定しています。

弊社の得意とする無垢のドア作りによって培った乾燥・加工技術のたまものです。

高度成長期の需要増により、規格化され使いやすい輸入材に押され、国産材が売れなくなり、山を手入れしなくなり、余計に伐採にコストがかかって……といった悪循環が生じています。しかし、1300年という歴史ある正倉院の校倉造り（あびく）に見られるように、木はわが国の文化。資源がないといわれるわが国の唯一の資源です。「木を正しく使う」ためになんとかしたい。林野庁が推進する、生産・加工・流通体制の構築などにより販路を確保し利益を森林保有者に還元するモデル事業、新生産システムなどにも参加しながら商品開発を進めています。

平成19年4月に各務原商工会議所の林さんに勧められて、経営革新計画を策定し知事認定を得ました。経営の専門の先生に助言いただき、自社の今までの取り組みと今後の展開を整理できました。次のステップとして、中空木材の空洞部分をアルミ材で補強し、ハイブリッドな柱材が誕生。商品化したウッドフェンスは、防腐・防蟻処理を施して耐久性も確保し木の風合いが好評です。住宅建材としての利用価値がぐんと上がりました。

私どもは生産・販売の技術、ノウハウなどは自負しておりますが、より多くの販路を目指すためには広範な情報収集はかかせません。今後も商工会議所には、補助金や国・県の制度など適時適切な情報をお願いします。

ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ

担当者からひと言



各務原商工会議所
(岐阜県)
中小企業相談所川島支所長
林 則夫

工場出荷を待つキットハウスには、木材一つひとつに「〇〇〇〇様」の刻印があります。これは受け取ったらキットうれいでしょうね。お客様の気持ちを酌んだ商品作りは、厳しい景況でも底堅いと思います。

食品分野では各地で「地産地消」が叫ばれています。岐阜県で育った杉は当地の風土気候にあった材であることは明らか。ひいては国産の杉を国内でもっと使ってほしい。東京・銀座の屋台や長野・松本の市民農園の施設などにもキットハウスが使われているそうです。

岐阜県産の杉材の素晴らしさをどんどんアピールしてほしいですね。